



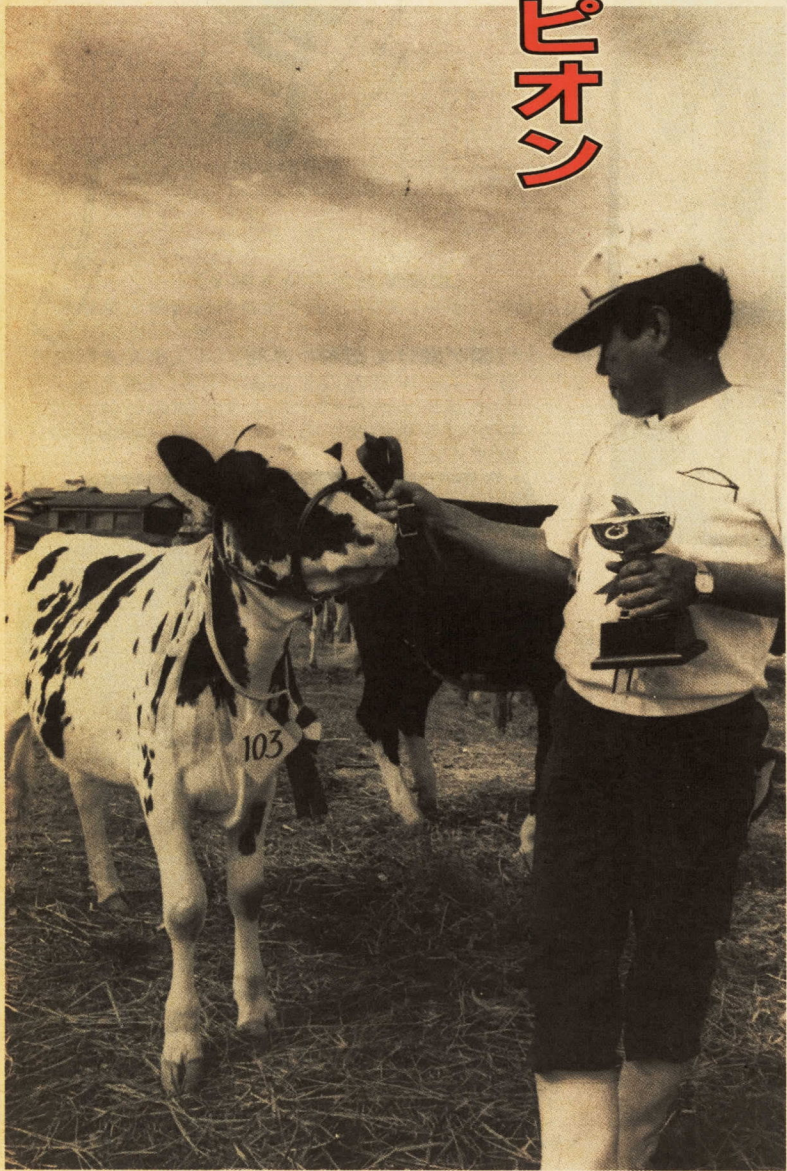
人口・世帯	(9月1日現在)
人口	187,251人 (前月比+190人)
世帯	57,162世帯 (前月比+75世帯)

小田原市農業まつりの一環として、「小田原市畜産共進会・乳牛の部」が、十月二日に行われました。この畜産共進会は、家畜の改良と、畜産物の品質向上を図るために行われているもので、当日は四十一頭の乳牛が資質を競い合いました。

審査の結果、未経産の部で真壁秀男さんの乳牛が、経産の部で志沢勲さんの乳牛がそれぞれグランドチャンピオンに選ばれました。

グランドチャンピオン

わたしは……



未経産の部でグランドチャンピオンに選ばれた真壁秀男さんの乳牛



天守閣を背景に

小田原城新能

小田原の秋を告げる恒例の行事「小田原城新能」が、九月三十日、秋の夜空に浮かび上がる小田原城天守閣を背景に行われました。この新能は今年で四回目を迎え、当日は約千五百人の観客が幽幻の世界に浸りました。

能「俊寛」を勸世元昭さん、「船弁慶」を関根祥六・坂井音重さん、狂言「二人大名」を山本東次郎さんらが演じ、観客も古典芸能を十分堪能していました。

シャガール版画展

～神奈川県立近代美術館所蔵～



10月29日～11月9日
(11月3日・4日は休館)

午前9時30分～午後5時

会場・小田原市中央公民館

☎35-5300

市民文化祭参加



郷土文化館分館
松永記念館

秋の特別展

日本の民画・泥(どろ)絵展

東京の財団法人日本民芸館の協力により、同館の所蔵する「泥絵」の名品三十点を展示します。

「泥絵」は、幕末から明治にかけて洋風を取り入れ、各地の名所・風景を泥絵の具で描いたもので、いわば土産絵として売られた民画を指して言います。

現在これらは、その作品の珍しさばかりでなく、芸術性の上からも高い評価を得ており、研究や鑑賞の面からも興味を尽きないものです。是非ご覧ください。

◆日時 10月26日(日)～11月9日(日) 午前9時～午後5時

時(入場は午後4時まで)ただし、10月27日(月)は休館

◆会場 郷土文化館分館・松永記念館 1階展示室

◆交通 箱根登山鉄道箱根板橋駅下車徒歩10分・箱根行きバス上板橋下車徒歩6分

◆内容 東海道の名所を中心に、江戸・関西・長崎などで流行した泥絵の代表作

◆入場料 無料

◆図録も作製・販売しますので、是非ご購入を。

※今回の特別展では、出品された泥絵のすべてを写真撮影した図録を販売します。是非、ご購入ください。



十月三日から五日まで、小田原市と南足柄市、足柄上郡、下郡の児童生徒の作品を集めた「小田原地方児童生徒創意くふう展覧会」が開かれました。この展覧会は今回で三十六回目を迎えました。小学生の部に百八十八点、中学生の部に二百六十九点が出展され、会場は市民会館は楽しいアイデアの作品でいっぱいでした。

審査の結果、優秀賞五点、優良賞十五点などが選ばれましたが、今回の優秀賞はすべて本市の男子で、柴田憲之助(本町小学校五年)の「ガンスプレー」、青木圭一(足柄小学校六年)の「脚立を支える一本足」、本間豊樹(城北中学校一年)の「大きさが変わるチリ袋ホルダー」、難波正英(城山中学校一年)の「袋が続いて出るゴミ箱」、星野良之助(白山中学校三年)の「画びょう付きクリップ」でした。優秀賞に選ばれた五人の作品を紹介します。

【画びょう付きクリップ】クリップに画びょうを付けました。掲示物にキズがつかず、掲示・取り外しが簡単、吸盤が着かないところでも使えます(白山中の星野くん)

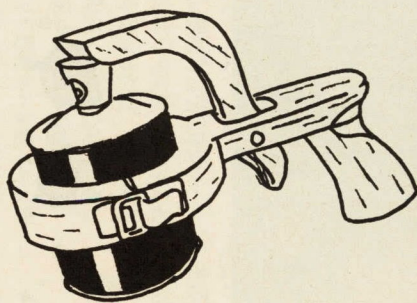


優秀賞は慎重な審査で選ばれました

【袋が続いて出るゴミ箱】ゴミがたまったらビニール袋の口をふさいで引っ張ると、ティッシュペーパーのように次のビニール袋がゴミ箱の底から出てきます(城山中の難波くん)



【ガンスプレー】プラモデルなどをスプレーで塗るとき手がよごれるので、ガンスプレーを工夫しました。止め金を付けてスプレーの缶を交換できるようにしました(本町小の柴田くん)



【大きさが変わるチリ袋ホルダー】このチリ袋ホルダーは大きさが変わります。市販されているチリ袋と違い、簡単な材料さえあればだれでも手軽に作れます(城北中の本間くん)



展 木折展



(巻八より)

の風景や名所旧跡を極彩色の絵と言葉書きで表現している。
※この資料は昭和五十二年に瓜生顕さんから寄

おしらせ・おしらせ・おしらせ

さかなまつり
8日から開催



昨年のさかなまつり

11月8日から9日まで、市民会館で第28回さかなまつりが開かれます。
さかなまつりは、消費者に魚介類や水産加工品への認識を高めていただき、食生活の向上を図り、水産業の振興を目的として開催されるものです。

看護職員と
奨学生を募集

市立病院では職員と奨学生を募集しています。

【職 員】
◆募集職種及び人数 助産婦 看護婦・看護士、准看護婦
・准看護士 若干名
◆対象 有資格者と資格取得見込みの方。いずれも35歳以下。パート勤務は相談に応じます。

◆申込み 履歴書(有資格者は免許証の写しも併せて)を郵送又は持参してください。
※採用は書類審査、面接及び

【奨 学 生】
◆資格 ①小田原商工会議所又は橋商工会の推薦がある方②他の資格は中小企業小口資金と同じ
◆問い合わせ 商工課商業係 ☎15111

済能力がある方④この資金の保証人になっていない方
△大型店対策特別資金▽
○貸付限度額 500万円
○返済期間及び利率 5年以内(元金は6か月据え置くことができます)
○年利 5・7%

市融資制度の
ご利用を

市内の中小企業者を対象に融資を行っています。ご利用ください。

- ◆中小企業小口資金▽
- ◆運転資金
- 貸付限度額 300万円
- 返済期間及び利率 4年以内(元金は6か月据え置くことができます)
- ◆設備資金・運転設備併用資金
- 貸付限度額 500万円
- 年利 5・8%



身体検査により決定します。
◆問い合わせ及び提出先 市立病院庶務課(〒250久野46) ☎3175内線604

◆市内医療機関からの転職はご遠慮ください。

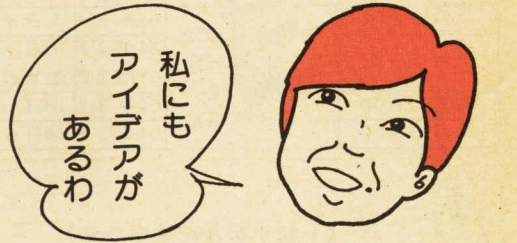
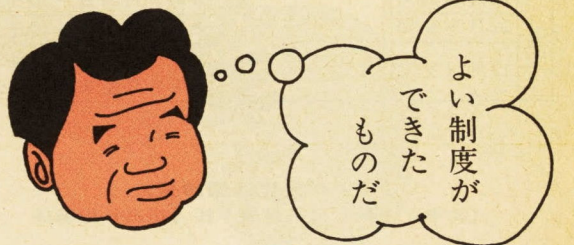
◆奨学生▽
◆対象 現在、看護学校等に在学中の方
◆奨学金 月額3万円
◆申込み及び問い合わせは、職員募集の場合と同じです。

指定代理金融機関
の支店新設

市の指定代理金融機関の小

わたしの提案

◎はがきをください



楽しいこと……
困っていること……
幸せを感じる……
不愉快なこと……
それから、ちょっと
気掛かりなこと……

ましよう。
あなたの意見や提案を市政に反映させませんか。
市は、この度、はがきによる「わたしの提案」制度を発足させました。
身近な事柄から、遠大な構想まで、どんなことでも結構です。例えば、

市民と市の協働のまちづくり計画・総合計画「おだわら21世紀プラン」について……
小田原のまち活性化のアイデアについて……
あなたの老後、高齢化社会について……
子どもたちのために将来の小田原について……

「意見やご提案をお寄せください。」
建設的な提案などは「広報おだわら」に掲載します。
なお、提案用のはがきは十一月初旬に自治会を通じて配布しますが、市役所二階総合案内、支所、連絡所等にも備えておきますので、ご自由にご利用ください。
なお、このはがきは料金受取人払いですので、発送する場合は切手は不要です。
◆問い合わせ
広報課広聴係(〒2500 狹窪300・市役所3階) ☎1263

おしらせ

デイスポーターの使用は控えて
デイスポーターは河川の水質汚濁の原因となります。デイスポーターは家庭の生ごみを破碎して水と一緒に下水道や河川等に流す機械ですが、この生ごみを直接流すと下水道管や側溝などにたまって詰まる原因となります。河川等の水質汚濁にもつながりますので、なるべく使用を控えてください。
なお、下水道を利用してのご家庭では、生ごみが直接流れ込まないように除害施設等を付ければデイスポーターは使用できません。
◆生ごみは必ず水切りをして所定の収集場所へ出してください。
詳しいことは、生活環境課(☎1473)又は下水道部業務課(☎1614)へお問い合わせください。

水道の修理は修理センターへ
家庭の蛇口故障や水道管破裂などの修理は、管工事協同組合の水道修理センターへ。特に希望のある方は公認業者に直接申込みを。ただし、公道内の水道管は市が無料で修理します。漏水箇所を発見されましたら工務課維持係へ連絡を。宅地内は有料です。
蛇口パッキンの取替えは自分でできます。公認業者か水道材料店でパッキンを買ってから修理を。なお、橋地区は泉管水道です。詳細は県企業庁水道局平塚事務所(県合同庁舎内☎04632711)へお問い合わせください。

視覚障害者に移動ライトセンター
県ライトセンターでは、センターの仕事を知っていただくために、次のとおり市社会福祉センターを会場に「1日移動ライトセンター」を開きます。
日時 11月30日(日)午前10時～午後3時
内容 センターの事業紹介と相談、盲人用具・視覚障害者福祉機器の紹介
申込み及び問い合わせ 県ライトセンター ☎045-364-0023

職業技術校で技能展を開催
小田原高等職業技術校では次のとおり、技能展を開催します。
日時 11月2日(日)午前10時～午後3時
会場 小田原高等職業技術校(板橋726-1)
内容 施設の公開と訓練内容の紹介、実習作品の展示と各種模擬店
問い合わせ 小田原高等職業技術校 ☎2275

ぼくの学校 わたしの学校

前羽小学校 《16》



全校児童で海岸清掃を

ぼくたちの学校は、今年で百十三歳になりました。国府津駅から国道に沿って東へ約二キロの所にあります。八月には、一部、鉄筋建ての新社舎ができました。四階建ての白いスマートな校舎に、二学期から入ることができ、明るい教室で勉強できるのが夢のようです。屋上からながめる景色はすばらしく、南に相模湾、北には坊山など、四方を自然に囲まれています。

市内では二・三番目に小さな学校ですが、とても良くまとまったすばらしい学校です。四月には新一年生と楽しい手つなぎ遠足、五月には小運動会があり、上級生は下級生、特に一年生のめんどうを親切に見ますし、一年生は一生けん命やってくれます。でも残念なことに、ぼくたちの学校は運動場がとてつもないのです。『広い運動場をください』と、さげびたくなることもあります。

形など多くの楽しい行事があります。七夕集会では、学年ごとの竹ざおに願いをこめたたんざくを、かざりつけます。学年の出し物もあり楽しい集会です。砂の造形は、登校班別に思い思いの作品を作り上げます。特に魚類が多く、あたかも砂の上の水族館です。また毎年児童会では老人会の人たちへ、運動会の招待状を書き、たくさんのお年寄りが応援に来てくれます。
この他、ぼくたちは、毎年夏に、全校児童で海岸をうじもおこなっています。みんな「地元前羽の海をきれいにしよう」と汗を流してゴミ拾いをしていきます。
小さな学校ですが、希望をもってこれからの新校舎を見守り、ゆずりあいなから使っていきたい、と思います。
児童会の活動では、七夕集会、クリスマス集会、砂の造

おしらせ

すこやかかながわ フェスティバル
県は次の日程で「すこやかかながわフェスティバル」を開催します。会場は横浜ですが、是非ご参加ください。
◆前夜祭「イルカ・コンサー



給水管漏水調査にご協力を
水道部では、給水管が漏水していないか調査をしています。旧市内は半年ごと、郊外

○日時・会場 10月31日(金)午後6時30分～8時30分 県民ホール
○入場料 S席 2000円 A席 1500円
◆フェスティバル
○日時・会場 11月1日(土) 3日(初)午前10時～午後4時 大通り公園・横浜スタジアム(横浜スタジアムは2日まで)
◆シンポジウム「これからの健康・仕事・余暇」
○日時・会場 11月1日(土) 午前9時40分～午後0時10分 横浜市民文化会館
◆問い合わせ すこやかかながわフェスティバル実行委

は1年ごとに一巡しています。調査員が宅地内の調査をし、漏水している場合はその場で指導しますのでご協力を。なお、調査員は、腕章(漏水調査員)を付けています。
◆問い合わせ 工務課☎667

詐欺、脅し、交通事故などで被害を受けて警察や検察庁に訴えられたり犯人を裁判にかけてくれない、と不審に思っている方はいませんか。そういう方は泣き寝入りせずに「検察審査会」にご相談ください。相談費用は一切無料です。
◆連絡先 小田原検察審査会事務局(〒2500本町1-7-9 小田原裁判所内) ☎26186・内線15

特例永住の許可申請を
朝鮮半島及び台湾出身者とその子孫で、次に該当する方は12月31日までに特例永住許可の申請をしてください。
申請すればすべて永住が許可されます。まだ、申請をしていない方は最寄りの入国管理局へ申請してください。郵

送でも申請できます。
◆対象 終戦前から引き続き日本に在留している、朝鮮半島・台湾出身の方とその直系の子孫として日本で生まれ、引き続き日本に在留している方
◆問い合わせ 詳しいことは次のところへお問い合わせください。
・法務省入国管理局 ☎03-580-4111
・東京入国管理局 ☎03-213-8111
・横浜支局 ☎045-681-6801

小田原労働センターでは、センターを会場として郷土の歴史講座を開催します。内容は講座と史跡巡りです。
◆日程 10月31日～12月5日の毎週金曜日6回。午後6時～8時(11月30日は午前10時～午後4時)
◆対象 勤労婦人及び一般30人
◆講師 郷土史研究家・三津木国輝さん
◆受講料 無料。ただし、史跡巡りに伴う諸経費は自己負担
◆申込み及び問い合わせ 小田原労働センター ☎557

小田原高等職業技術校では、次のとおり、技能展を開催します。
日時 11月2日(日)午前10時～午後3時
会場 小田原高等職業技術校(板橋726-1)
内容 施設の公開と訓練内容の紹介、実習作品の展示と各種模擬店
問い合わせ 小田原高等職業技術校 ☎2275

小田原労働センターでは、センターを会場として郷土の歴史講座を開催します。内容は講座と史跡巡りです。
◆日程 10月31日～12月5日の毎週金曜日6回。午後6時～8時(11月30日は午前10時～午後4時)
◆対象 勤労婦人及び一般30人
◆講師 郷土史研究家・三津木国輝さん
◆受講料 無料。ただし、史跡巡りに伴う諸経費は自己負担
◆申込み及び問い合わせ 小田原労働センター ☎557

小田原労働センターでは、センターを会場として郷土の歴史講座を開催します。内容は講座と史跡巡りです。
◆日程 10月31日～12月5日の毎週金曜日6回。午後6時～8時(11月30日は午前10時～午後4時)
◆対象 勤労婦人及び一般30人
◆講師 郷土史研究家・三津木国輝さん
◆受講料 無料。ただし、史跡巡りに伴う諸経費は自己負担
◆申込み及び問い合わせ 小田原労働センター ☎557